

鬼怒川温泉ロープウェイ
平成29年度
エーデルワイス スキーリゾート

索道安全報告書



平成30年 5月

鬼怒高原開発株式会社

ご利用者の皆様へ

当社の索道事業につきましては、日頃よりのご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございますご御座います。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からのご意見、ご感想を頂戴し輸送の安全に役立てたく、ご意見を戴ければ幸いです。

平成30年5月

鬼怒高原開発株式会社
代表取締役社長 齋藤 学

1. 索道名

普通索道	鬼怒川温泉ロープウェイ
特殊索道	見晴クワッドリフト 第2クワッドリフト 見晴ファミリーペアーリフト 第2ファミリーペアーリフト 枯木沼ペアーリフト

2. 安全基本方針

- 「安全確保」は当社の第一の経営理念であり、お客様に対する最大の責務である。命を預かる商売であること。
- 常に安全性向上に努め、法令・規則を理解し、それを社員一人ひとりが確実に遵守・励行する。
- 組織一体となって、安全確保に不断の努力を傾注し、お客様に「安全・安心かつ魅力あるサービス」を提供する。

安全行動規範

- ① 社員全員が一致協力して安全の確保に努めること。
- ② 安全に関する法令及び関連する規定をよく理解すると共に、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとり、お客様に対し最大限の誠意をもって対応する。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革を行う。

平成29年度安全目標（安全重点施策）

- (1) 社員一人ひとりが安全管理責任者である自覚と事故防止の徹底
「決められたルールは守ること」 守らなければ去れ！
- (2) 安全管理の日:8月1日
 - ・ 作業場の安全確認と実行（二度と事故を起こさない体制を作る）
安全衛生委員会を充実
- (3) 教育訓練の充実
 - ・ 全ての部署において安全と緊急時に対する研修会の実施
 - ・ 新人教育と安全確認の徹底
 - ・ 各種規則の確認と徹底
- (4) 作業手順（マニュアル）の再構築と作成
- (5) 事故情報等の確実な伝達（報・連・相）
緊急連絡網、報告書の標準化
- (6) 事故防止策の共有
週1回朝礼時、「ヒヤリ・ハット情報」「外部事故情報」を報告し、情報の共有化を図る
- (7) 「整備点検」と「始業時の安全確認」の徹底

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）
平成29年度、索道運転事故（索道人身障害事故）はありませんでした。
- (2) 災害（地震や暴風雪、豪雪、強風、雷など）
普通索道：悪天候による営業運転の中止はございませんでした。
特殊索道：悪天候による営業運転ができない日が2日間ありました。
- (3) インシデント（事故の兆候）
平成29年度、国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。
- (4) 行政指導等
平成29年5月11日に日光労働基準監督署より特殊索道の改善措置指示があり、指摘された箇所を改善いたしました。

4. 輸送の安全確保のための取り組み

- (1) 人材教育
当社では、輸送の安全確保や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前安全祈願祭終了後に、職員に施設及び取扱について安全教育を実施しました。
又、索道技術管理者・索道技術管理員と救助訓練終了後に安全教育及び教育訓練を実施いたしました。

「新人係員教育マニュアル」を作成して、各特殊索道に配布いたしました。



全体会議 1



全体会議 2

(2) 緊急時対応訓練

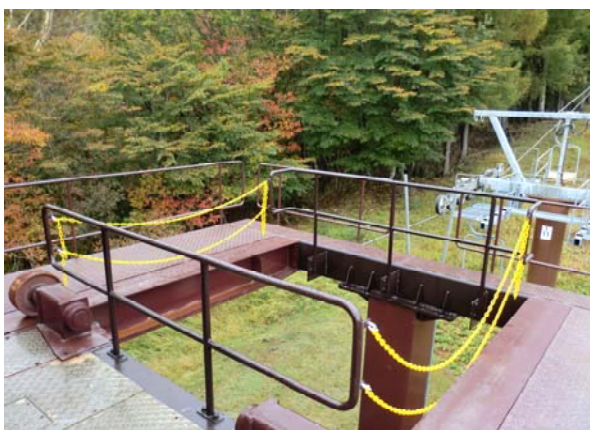
普通索道では、平成29年度の訓練として、新規採用者の安全教育を中心に活動いたしました。

救助マニュアルに基づき、救助器具取扱訓練と乗客への案内対応、索道職員間の対処方法について知識の向上を図りました。

特殊索道では、総合救助訓練を2回実施いたしました。救助訓練終了後、に教育訓練も合わせて行いました。又、新規採用の職員には、随時教育訓練を実施しております。



平成29年度ロープウェイ救助訓練(普通索道)



平成29年度スキー場落下防止柵、機械室侵入防止柵(特殊索道)

(3) 安全の為の施設の改善と修繕

★ 鬼怒川温泉ロープウェイ：支索1号線・2号線引き上げ工事
一号支柱補強工事
山麓駅舎外壁工事

★エーデルワイススキーリゾート

特殊索道運転中に機械室に出入りできない様に、階段には柵、機械室通路には落下防止用柵、主要機械には温度計を設置して運転室で温度を直視出来るようになりました。

- ① 見晴クワッドリフト：・主減速機潤滑油交換 ・山頂除雪機作動油交換等
- ② 第2クワッドリフト：・山頂押送チェーンオーバーホール ・無線制御装置設置
・インターホーン取り付け ・山頂風速計修理等
- ③ 見晴ファミリーペアリフト：・除雪機作動油交換 ・山麓誘導輪交換等
- ④ エーデルワイス第2ファミリーペアリフト：
・支柱全支柱リミットスイッチケーブル交換
・除雪機作動油交換 ・降り場盛り土 ・風速計修理等
- ⑤ 枯木沼ペアーリフト：・4号支柱下りビーム交換 ・握索機オーバーホール等

平成30年度索道整備及び予定

★ 鬼怒川温泉ロープウェイ：乗降場階段修繕
搬器懸垂部防錆塗装

★エーデルワイススキーリゾート

見晴クワッドリフト：搬器・不良座面交換
監視装置・屋外制御箱交換
山麓駅舎索道名看板・塗装等

第2クワッドリフト：握索器・分解、洗浄、測定、点検整備
山頂押送チェーン・点検整備等

見晴ファミリーペアリフト：ケーブル滑車交換
減速機・潤滑油交換等

第2ファミリーペアリフト：握索器・分解、洗浄、測定、点検整備
電動機・整流子交換等

枯木沼ペアーリフト：支柱・索輪等交換
乗り場・排水路等

★外部機関との救助訓練の実施

平成29年度は、「鬼怒川ロープウエー」で、日光市消防本部藤原消防署と合同救助訓練を9月に計画しましたが消防署の都合（捜索活動）により中止となったため、ロープウェイにおける単独訓練となりました。

(4) 「事故の芽」情報

安全を確保するためのシステムの改善や教育・研修の資料とするため「ヒヤリ・ハット情報」「不具合・リスク情報」報告書制度を作り、事故予防と再発防止に努めております。また、「社員提案制度」を作り、安全確保とサービス向上に努めております。

平成29年度収集実績

「ヒヤリハット」

鬼怒川温泉ロープウェイ 2件 エーデルワイススキーリゾート 3件

(5) 「社内保安監査」の実施

平成29年4月11日に普通索道、平成29年3月26日に特殊索道について社内監査を実施されました。

また、安全衛生委員会でロープウェイ・各リフトの安全巡視の巡回を年間数回実施しました。

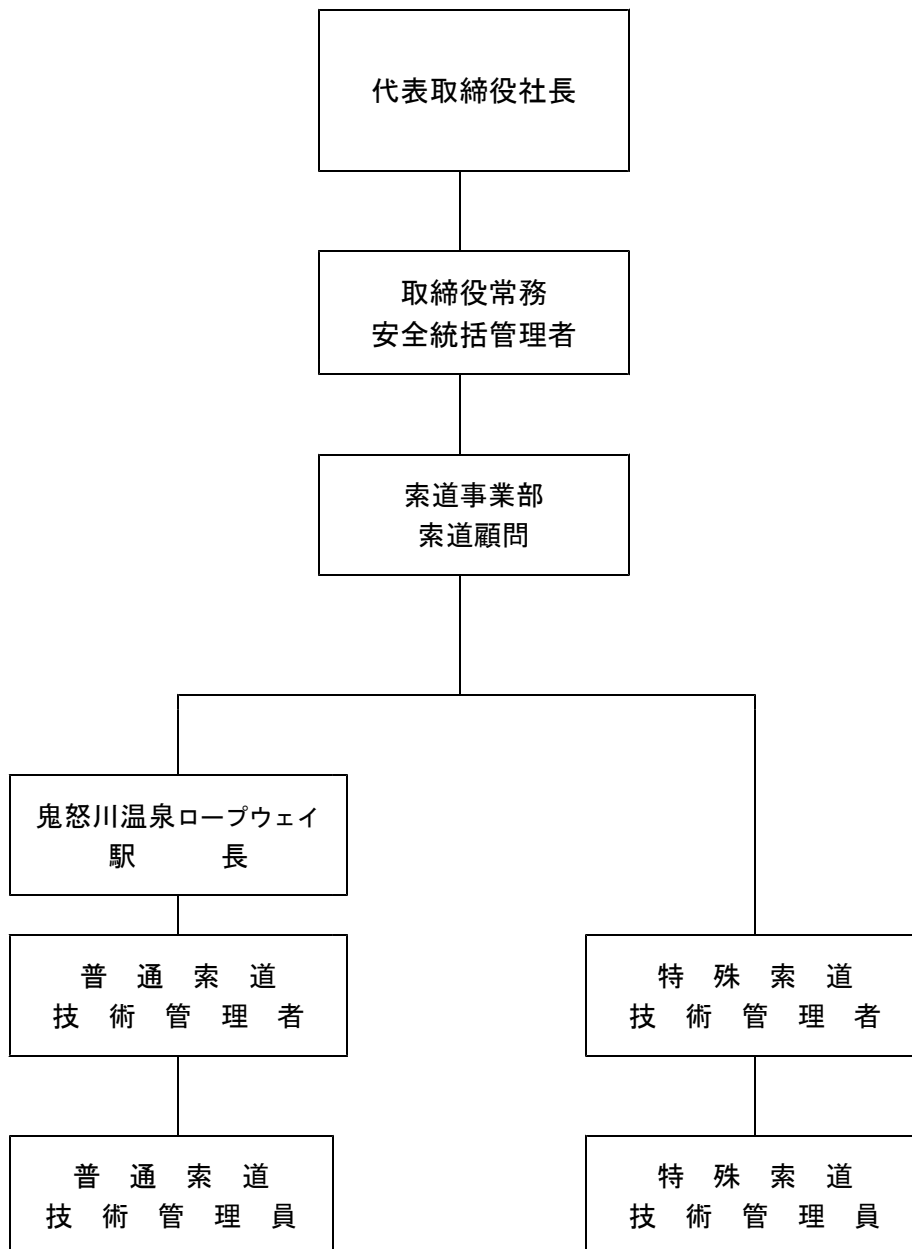
5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

- (1) 社長は輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- (2) 安全統括管理者：索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- (3) 総務課長：人事に関する業務を統括する。
- (4) 索道顧問：安全統括管理者の指揮の下、特殊索道の輸送の安全の確保する業務を統括する。
- (5) 駅長：安全統括管理者及び索道顧問の指揮の下、普通索道の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- (6) 普通索道技術管理者：駅長の指揮の下、普通索道の安全な運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- (7) 特殊索道技術管理者：索道顧問の指揮の下、特殊索道の安全な運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- (8) 普通索道技術管理員：普通索道技術管理者の指揮の下、索道の安全な運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を管理する。
- (9) 特殊索道技術管理員：特殊索道技術管理者の指揮の下、索道の安全な運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

組 織 図

(平成29年度)



6. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 当社では、皆様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より安全で信頼される索道事業の推進のために役立ててまいります。

(2) ロープ・ウェイ、リフト乗車時の注意事項

《鬼怒川温泉ロープ・ウェイ》（普通索道）

【通常時】

- ①乗車の際は足もとに注意し、搬器内では静かにして下さい。
- ②搬器内は禁煙です。また酒気を帯び他のお客様にご迷惑をかけないで下さい。
- ③爆発の恐れのあるもの及び危険物等を持ち込まないで下さい。
- ④窓から手を出したり物を投げないで下さい。
- ⑤搬器内の備品を汚損したり落書きはおやめ下さい。
- ⑥その他、危険と思われる行為はおやめ下さい。

【非常時】

- ①搬器内で緊急事態発生の場合は、搬器内無線機によりご連絡下さい。
- ②万一途中停止の場合は搬器内無線機により状況をお知らせいたします。
- ③機械故障、停電等で途中停止が長時間に亘る場合は係員が救助いたします。
- ④その他非常の場合は係員の指示に従って下さい。

《エーデルワイス・スキーリゾート》（特殊索道）

【乗車時】

- ①リフト利用に不安な方は、係員にお申し出下さい。
- ②「乗車位置」で前に向けて待機して下さい。
- ③乗れなかった場合はすぐにリフトから離れて下さい。
- ④ストック等がとなりの人に迷惑にならないように注意して下さい。
- ⑤「ハイバック」はたたんでご利用下さい

【乗車中】

- ①乗車中は搬器を揺らしたり、飛び降りたりしないで下さい。
- ②ストック等で支柱などに触れないで下さい。

【降車時】

- ①「降り場」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進んで下さい。
- ②リフトから降りられなかったら、そのまま搬器に座って下さい。

【その他】

- ①係員の指示に従って下さい。
- ②乗車の際は、係員にリフト乗車券を提示して下さい。
- ③不明な点がありましたら係員におたずねください。

7. ご意見・お問い合わせ

安全報告書のご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒321-2522

本社：栃木県日光市鬼怒川温泉大原三ツ石1414

鬼怒高原開発株式会社

◆ 鬼怒川温泉ロープウェイ

Tel 0288-77-0700 Fax 0288-76-2166

◆ エーデルワイス スキーリゾート

Tel 0288-78-0432 Fax 0288-78-1390